



②

③





⑦

⑧

⑨

福島県立医科大学附属病院に向け、負傷者をヘリで搬送する  
スタッフ（3月16日午前10時50分すぎ、福島県楢葉町の  
福島第二原発グラウンド）  
敷地内の一角にあるテニスコートには除染テントが設置され  
た（4月5日、福島県楢葉町のJヴィレッジ）  
福島第一原発事故に対応して活動する自衛隊員や作業員の最  
前線基地となっていたJヴィレッジの施設内（4月9日、  
Jヴィレッジ）  
福島第一、福島第二原発で作業する要員が着用する防護マス  
クや靴カバー（4月9日、Jヴィレッジ）

⑩

⑪

一時帰宅中継拠点となった体育館に集まり、防護服を着用した住民たち（6月14日、福島県川内村村民体育センター）  
一時帰宅を終えた住民たちはバスを降り、放射線測定などのため体育館へ（6月14日、川内村村民体育センター）  
高度医療が必要な被ばく患者受け入れに備えて設置した大型除染テント。3月16日から6月13日まで設置した（広島大学霞キャンパス内）  
福島市内の応急仮設住宅の集会所で、避難している飯館村民らの質問に答える神谷教授（中央）と福島県立医大の安村誠司教授（11月26日）

⑬



# 主な現地活動拠点

